

去年の8月13日から私は「隆雄病状日誌」をエクセルで記録してきました。去年の同じ時期の記録を見ると厳しさが伝わってくるようです。抗がん剤投与の6クールのサイクルを測るために始めたのです。トータルで125日間入院し、2019年1月22日に退院し、日誌の記録は終わりました。

|    |    |                    |   |
|----|----|--------------------|---|
| 8月 | 28 | 胃・十二指腸カメラ検査        | 夜 悪性リンパ腫と告知（電話にて連絡）   |
|    | 29 |                    | 13:00 面談(腫瘍内科・下山先生・看護師)<br>びらん性大細胞 B 細胞リンパ腫・Burkitt リンパ腫？<br>検査をし、抗がん剤治療の方向を決める |
|    | 30 | 骨髄液検査・             | PET 検査は退院し外来で受けねばならないので無理。骨髄液検査の結果、即治療に入る。準備の点滴始まる。                             |
|    | 31 | 抗がん剤フレドニソロン投与開始    | 昨夜は嘔吐が激しく、膿盆が離せない。<br>リツキシマブは破壊力が強く、死滅したがん細胞が多く出る。副作用が大きいから、あとで様子を見て用いる。        |
| 9月 | 1  | 抗がん剤フレドニソロン投与      | 今日は順調ですとメールあり。  |
|    | 2  | 抗がん剤フレドニソロン投与      |   |
|    | 3  | R=SA EPOCH 療法 4 種類 | 嘔吐  |

退院後は外来で受診、検査、処置を受けることになりましたので、もっぱら手帳に記してきました。外来診療で、まずは、検査です。血液検査で輸血が必要なことがあったり、CT 検査、内視鏡検査、PET 検査など、検査を重ね、調べて貰い、主治医の診断結果が出るまで5カ月かかりました。やっと、5月28日に主治医から「寛解、治癒したといえるでしょう」の言葉を笑顔と共にいただくことが出来ました。本当に長い闘病から解放された喜び、感謝に浸ったものです。

それから3カ月ごとの定期検診になりますと言われ、先日、8月28日に血液検査、診察を受けました。病気による炎症の有無を示すLDHの値は通常の範囲内の数値でしたので、問題はないということで、これは一安心でした。まだ赤血球、血小板などの数値は低いままです。ただ尿酸値が高くなっていました。十分水分を取るようにと言われました。7月末に気温が急激に上がり、激しい夏バテ状態になって以降、動くこともきつく、水分も十分とり切れていなかったのでしょうか。そのため、1月後に再び、血液検査を受けることになりました。

やはり慎重な、予後、経過観察が必要な、危険な病気であることが感じられます。「寛解」という言葉を聞いて喜んだ、この3か月間でしたが、この間に私の妹をはじめとして、亡くなった方々が5名もおられました。いま与えられた健康を感謝し、大切に用いなければと思わされます。そんな中でも40年以上も前に親しくなった信仰の友との再会がありました。また、亡くなった妹の家族も遺品を教会のリサイクルバザーに利用してもらえれば…と言って届けてくれました。皆さんと笑顔で会食できる日が沢山与えられますようにと願っています。

